

科目名	保健医療福祉行政論(週2回)			ナンバリング	BSS661	授業形態	講義
対象学年	3 年	開講時期	後期後半	科目分類	選択	単位数	2 単位
代表教員	鎌田真理子	担当教員					

授業の概要	保健医療福祉行政は、人々の健康を守り、安定した日常生活の維持を図るために存在する制度である。そのためのサービス提供機関と医療従事者の役割や機能について、基本的な法律や問題を学修する。具体的には、保健医療福祉制度・政策の歴史、現在の看護の現状と動向を踏まえ、保健師助産師看護師法、医療法および関連する法律と看護実践との関係について、臨床における事例を用いて理解する。また、地域社会における保健医療福祉サービスのあり方や、保健師・看護師などの専門職が担っていく役割についても学修する。						
到達目標	1.わが国の保健医療行政や財政の仕組みとその理念、行政側の考え方の変遷、分野と制度、計画と評価について理解できる。 2.少子高齢化わが国の現状と課題を踏まえ、保健師および看護業務に必要な公衆衛生看護学の基本的理解とその知識を修得し、変化する社会構造的課題への対応可能性を希求し、実際のなビジョンを描くことができる。 3.保健医療福祉行政についてのマネジメント視点における、計画・評価・管理等に必要な視点を修得できる。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	教科書を中心にシラバスに対応した内容で進めるため、テキストに事前に目を通し、内容の概要を理解しておく。さらに関連する分野の新聞やニュースに目を通したり、興味のある自治体のホームページなどで現状と課題について確認をしたうえで、受講をするとさらに理解が深まる。						
ディプロマポリシーとの 関連	【看護学部看護学科のディプロマポリシー】						
	○	1. 広い視野と豊かな教養に基づき、看護の担い手としてふさわしいヒューマニズムと倫理観を身につけている。					
		2. EBN(Evidence Based Nursing: 根拠に基づいた看護)に基づき、自律的に看護を実践することができる。					
	○	3. 生命の尊厳と人権を尊重する姿勢を身につけ、多職種と連携・協働することができる。					
	○	4. 地域の健康課題に関するニーズをとらえ、災害時の援助活動も含め、積極的に地域貢献できる能力と態度を身につけている。					
		5. 看護専門職として科学と看護の進展に対応するために、生涯にわたって持続可能な主体的学修ができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
1.保健医療福祉制度の社会保障制度についての理解ができている。 2.保健医療福祉制度は人間のライフサイクルに合わせた支援システムとして機能しているが、課題もあることを理解している。 3.保健医療福祉制度をマネジメントする専門職者として、エビデンスに基づくアセスメント、評価、計画など管理の視点を理解する。	1.保健医療福祉制度の社会保障制度についての理解をしたうえで、課題の分析や整理ができている。 2.保健医療福祉制度は人間のライフサイクルに合わせた支援システムとして機能しているが、課題もあることを理解し、改善システムを想定し企画・提案できる。 3.保健医療福祉制度をマネジメントする専門職者として、エビデンスに基づくアセスメント、評価、計画など管理の視点を理解企画・提案できる。

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
定期試験(中間・期末試験)	○	○	○				40%
小テスト・授業内レポート					○		20%
宿題・授業外レポート	○	○	○		○		20%
授業態度・授業への参加			○	○			20%

課題、評価のフィードバック	1.リアクション・ペーパーでの質問や意見については、次回の講義においてコメントを行う。 2.授業に関する質問や疑問、相談は随時応じている。 3.レポート、試験についての質問および成績に希望がある場合は随時説明をする。
---------------	--

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	オリエンテーション 保健医療福祉制度論の概要と歴史①	名本講義の予定及び進め方などについての説明、保健医療福祉行政の根拠、役割、公衆衛生とは何かを概説する。	
	第2回	保健医療福祉制度論の概要と歴史②	国内外の保健医療福祉制度の戦前及び戦後の変遷について概説する。	
	第3回	保健医療福祉制度論の概要と歴史③	わが国の保険医療福祉制度の現在までの変遷について概説する。	
	第4回	保健医療福祉行政・財政の理念としくみ①	国、都道府県、市区町村行政のしくみと役割について概説する。	
	第5回	保健医療福祉行政・財政の理念としくみ②	行政における保健師の役割および活動について概説する。	
	第6回	保健医療福祉行政・財政の理念としくみ③	保健医療福祉の財政、公衆衛生の国際的な活動について概説する。	
	第7回	社会保障制度および医療提供体制についての理解	社会保障制度の理念としくみと医療保障について概説する。	
	第8回	介護保険制度	介護保険制度、サービス、地域包括支援センター、行政の役割、実施機関、保健師の役割について概説する。	
	第9回	社会保障・社会福祉の制度について①	公的扶助、年金保険、医療保険、雇用保険、労働災害補償について概説する。、	
	第10回	社会保障・社会福祉の制度について②	児童家庭福祉、高齢者福祉、障害者福祉、成年後見制度、日常生活自立支援事業について解説する。	
	第11回	地域保健の体系①	地域保健に関する公的機関について概説する。	
	第12回	地域保健の体系②	地域保健の関係機関について解説する。	
	第13回	保健医療福祉の計画と評価①	地方公共団体の保健医療福祉計画、保健医療福祉計画の策定過程について概説する。	
	第14回	保健医療福祉の計画と評価②	保健推進計画の推進と評価について概説する。	
	第15回	保健医療福祉の計画と評価③	保健医療福祉計画の演習を実施する。	
	試験	定期試験での試験を実施する。		
授業の進め方		テキストを中心として進める。授業についてリフレクション・シートでの質問や疑問に次回の講義で回答をする。		
授業外学習の指示		事前に配布された資料をよく読みこんで、わからない用語や内容について自身で調べておくこと。 （授業外学習時間： 毎週 60 分）		

教科書	著者代表 藤内修二 『標準保健師講座 別巻 1 保健医療福祉行政論（第4版）』 医学書院、最新版、ISBN 978-4-260-02772-4 福祉六法編集委員会 編 『2019年版 福祉省六法』みらい 2019年.
参考書	適時、講義で紹介.
参考URLなど	厚生労働省ホームページ、各自治体ホームページ、都道府県および市区町村社会福祉協議会ホームページ等
その他	